



やまなし

おやこ
親子でエコチャレンジ

かつどうほうこくしょ
活動報告書

れいわ ねん がつ
令和5年12月

やまなしかんきょうか
山梨市環境課

Ⅰ「やまなし親子でエコチャレンジ概要」

(1) 目的

山梨市では2021年2月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年脱炭素社会の実現を目指して取り組んでいるところです。2023年3月に策定した「山梨市地域再生可能エネルギー導入戦略」においても、重点取組として「環境意識の向上」を設定し、子どもたちに環境学習の場を提供することを目指しています。

「やまなし親子でエコチャレンジ」は、家庭で省エネ・エコ行動に取り組み、環境にやさしい暮らしを实践するために10の具体的なチャレンジを記載した「エコチャレンジシート」に取り組んでもらい、家庭での環境への負荷が少ないライフスタイルを定着させることを目指します。

(2) 実施方法

市内小学4年生とその家族を対象として、夏休み期間中の1週間、家庭で省エネに取り組んでもらい、エコチャレンジシートを付けてもらいました。

<エコチャレンジシート>

エコチャレンジシート				家族のみんなにも協力してもらってね！										
①その日、できたチャレンジに○をつけよう	②取り組みを1週間続けよう	③○の数を書いて合計を書こう	④おうちの人と一緒に感想を書こう	①冷房の温度を28度より一度高く設定しよう	②テレビを見ないときは電源を切ろう	③照明を使わないときはこまめに消そう	④冷蔵庫の開け閉めは短い時間で	⑤入浴は間隔を開けずに続けて入ろう	⑥シャワーを使う時間を1日1分短くしよう	⑦歯をみがくときは水道を止めよう	⑧生ごみは水切りして捨てよう	⑨こみの分別をしよう	⑩ごはんを残さず食べよう	
月 日 ()														
月 日 ()														
月 日 ()														
月 日 ()														
月 日 ()														
月 日 ()														
月 日 ()														
○の合計														
◎工夫したことや、取り組んだ感想を書いてね！														
◎おうちの人にも感想を書いてもらおう！														
小学校		組		名前										

2 取り組み結果概要

(1) 実施期間

7月下旬から8月下旬まで(夏休み期間中)のうち、1週間

(2) 取組世帯数

243世帯

内訳: 加納岩小52世帯、日下部小53世帯、後屋敷小29世帯、山梨小36世帯、日川小22世帯、八幡小14世帯、岩手小6世帯、笛川小31世帯

(3) エコチャレンジで減らすことができた二酸化炭素の量

エコチャレンジメニュー	〇の数	1日で減らせる 二酸化炭素の量	1週間で減らした 二酸化炭素の量
①冷房の温度を普段より2度高く設定しよう	1,001	83 g	83,083 g
②テレビを見ていないときは電源を切ろう	1,460	13 g	18,980 g
③照明を使わないときはこまめに消そう	1,501	7.1 g	10,657 g
④冷蔵庫の開け閉めは短い時間で	1,448	9.9 g	14,335 g
⑤入浴は間隔を開けずに続けて入ろう	1,322	86 g	113,692 g
⑥シャワーを出す時間を1日1分短くしよう	1,296	74 g	95,904 g
⑦歯をみがく時は水道を止めよう	1,599	14 g	22,386 g
⑧生ごみは水切りして捨てよう	1,451	44.7 g	64,860 g
⑨ごみの分別をしよう	1,491	37.4 g	55,763 g
⑩ごはんを残さず食べよう	1,473	4 g	5,892 g
合 計			485,552 g

みなさんがエコチャレンジに取り組んだ結果、なんと合計で「485,552 g」の二酸化炭素を減らすことができました!

この削減した二酸化炭素の量を体積に直すと、サッカーボール約48,555個分になります。



(4) 〇の平均個数と実施率

エコチャレンジメニュー	〇の数 (最大7)	実施率
①冷房の温度を普段より2度高く設定しよう	4.1個	59 %
②テレビを見ていないときは電源を切ろう	6.0個	86 %
③照明を使わないときはこまめに消そう	6.2個	88 %
④冷蔵庫の開け閉めは短い時間で	6.0個	85 %
⑤入浴は間隔を開けずに続けて入ろう	5.4個	78 %
⑥シャワーを出す時間を1日1分短くしよう	5.3個	76 %
⑦歯をみがくときは水道を止めよう	6.6個	94 %
⑧生ごみは水切りして捨てよう	6.0個	85 %
⑨ごみの分別をしよう	6.1個	88 %
⑩ごはんを残さず食べよう	6.1個	87 %

(5) 考察

令和5年度の「親子でエコチャレンジ」では、計243世帯の親子がエコチャレンジメニューの10項目について、1週間取り組みを行いました。

チャレンジシートの集計結果から、エコチャレンジメニューの取り組みのほとんどが実施率80 % 前後となっており、全体的によく実践できていました。

特に「チャレンジ⑦ 歯をみがくときは水道を止めよう」については、実施率が94 % と高く、日頃から皆さんが意識して節水に取り組んでいることがうかがえました。

「チャレンジ① 冷房の温度を普段より2度高く設定しよう」については、実施率が59 % でしたが、「地球沸騰化」とも称される今年の猛暑ではエアコンの温度を上げるのが難しかったこと、また、日頃から高めに設定している家庭にとっては取り組みづらい内容であったことが考えられます。

親子でエコチャレンジの取り組み期間は1週間でしたが、これらの取り組みは1年中行うことができることばかりです。これをきっかけに、今後もエコな取り組みを続けていただければと思います。

3 「親子でエコチャレンジ」に取り組んだ参加者の感想

(1) 子どもの感想

- テレビや照明をみんなで消すように家族で声かけをした。
- 歯を磨くときに水が出ていないのを確認した。
- 魚が苦手だけど食べて頑張った。
- お風呂から出たら次の人を呼んだ。
- 冷蔵庫の開け閉めを短い時間でできた。
- ご飯は食べきれただけよそうなど工夫した。
- いない部屋の照明は消した。
- 時間を気にしながらお風呂に入った。
- ペットボトルをリサイクルステーションで分別した。
- 家族に協力してもらってよかった。
- 少しのことでエコできるんだと思った。
- これまで普通にやっていたことがエコなんだなと気付いた。
- 全部〇にしたかったけど、できなくてくやしい。
- エコをすることは意外に難しいことが分かった。
- ごみの分別をしてすっきりした。
- みんなで協力することが大事だと思った。
- エコができてうれしかった。
- チャレンジがあると意識できるから引き続きやりたい。

(2) 保護者の感想

- 子どもがエコについて興味を持ってよかったです。
- 普段から取り組んでいることなので、無理なくできました。
- 子どもが家族に声かけするようになりました。
- 家族でエコに対する考えを共有するいい機会になりました。
- 子どもが自分でテレビをこまめに切ったり、ごみの分別ができるようになりました。
- チャレンジシートを冷蔵庫に貼って取り組みました。よく見る場所に掲示すると効果的でした。
- 今年の夏は暑かったので、冷房の温度を高く設定するのが難しかったです。
- 普段から取り組んでいる内容が多かったのですが、子どもに言うときに「エコチャレンジだよ!」と言いやすく、家庭内の合言葉になりました。
- 毎日の積み重ねが大事なので、これからも続けていけたらいいなと思います。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました